



ママや赤ちゃんが寛げるカフェスペース

かけている途中、急遽おむつが必要になった。少ない枚数だけ買える自販機があったらいいのに……』という話が出たんです。たまたま当日、大手飲料メーカーと花王株式会社の方が参加していて『それならウチでできるかも』と、手を挙げてくれました」

(※)：JAMA(日本自動販売協会)

さらに、森さんはこう続けます。「声に出した人とカタチにできる人が同じ場所に居合わせるのは、奇跡のようなことでも、それだけでは

実現できません。ハードルは山ほどあったけど、それを乗り越えようと挑んでくれる人たちがいた。会社ではなく、人が世の中を動かしていると実感しましたね」



カフェ奥には、あらゆる用途で使えるレンタルスペースが！



イベント情報や年次報告書など紙媒体の発行も！

このほかにも「こまちぷらす」が集めた多くの声は、マーケティングや社内研修で活用されることも！

企業の「お困りごと」

に対する課題解決や、新たなアイデアが生まれる源としての役割を担っています。

実は LTR も今後、一緒に取り組む研修会などを計画。さっそく、LTR が毎月開催している「きぎょう講習会」(2022 年 5 月 17 日)にて、「こまちぷらす」の大塚 朋子氏(マネージャー、社会福祉士)と、LTR メン

バー山崎 香織氏(特定社会保険労務士)が「就労と家族のケアの両立」をテーマにお話しします。会場参加のほか YouTube 配信もありますので、お楽しみに！(4 月中旬以降、LTR のホームページでもご案内します)

子育てを多世代で！ 「医療」「住まい」「生活」「居場所」が一つに

現在も、チャレンジを続ける「こまちぷらす」。ついに 2023 年 4 月、長年の夢であった地域と医療、生活がミックスした一つの“場”が戸塚に誕生することになりました。

婦人科全般から小児科まで、地域に根差した医療を行う「伊東医院」、子育て応援＆参加型マンションをプロデュースする「ノビシロハウス」、そして「こまちカフェ」。医療と住まい、生活と居場所が一つに集

い、多世代で子育てを支える素晴らしい環境が生まれます。カフェについては、これから具体的なことを決めるそうですが、きっと訪れた皆さんが笑顔になり、ワクワクできる空間となるでしょう。

最後に森さんに今後の夢をお聞きすると、「アフリカのこことわざに、『子どもひとりが育つには、ひとつの村が必要だ』というものがあります。皆で助け合い支え合う社会、それが当たり前になる環境を、これからも作り続けたいですね」と、素敵な笑顔で話してくれました。(取材・文／小林 真由美)



集まったさまざまな「声」を次世代に残してゆく



素敵な空間を作る「こまちカフェ」の皆さん

こまちぷらすの HP はコチラから→→



さらに詳しい記事が読めるハマ街ビト(番外編)はコチラから→→

